

「ひびきあいの日」



令和7年10月23日

10月15日(水)

今年度の「ひびきあいの日」の活動は、全校でDVDを視聴しました。
自他の生命を尊重する心や規範意識を養う心について振り返り、誰もが過
ごしやすい学校生活・社会生活について考える機会としました。



ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～

資料 高校生のための副読本 「君はハンセン病を知っていますか？」

ハンセン病の正しい知識や歴史の理解を深めるととも
に、偏見や差別のない社会の実現について考えました。
生徒の感想の一部をご紹介します。



DVDにもあったように「無知が差別のは
始まり」だと思うのでしっかりと正しい知識
を身につけていきたい。日常でも知識を身
につけ、相手の言葉に耳をかたむけ思いや
りの心を忘れないよう過ごしていきたい。

国の政策によって偏見や差別に苦しん
だ人がたくさんいるのを忘れないためにも
伝えていくことが大切だと思いました。



日々の暮らしの中で寛容的な自分、そし
て間違っていることは指摘できる強く、芯の
ある人として生きていきたいと思いました。

差別がもたらす問題の恐ろしさを改
めて考え差別は絶対にあってはならな
いことだと思った。人は無意識に偏見
を持ってしてしまうことがある。勝手な判断
で偏見を持たないように、正確な情報で
あるかをよく考え意識して生活してい
きたい。



病気だけでなくLGBTQなど多様性の
問題にも同じように相手のことを理解して、
偏見を持たないようにしたり、理解してい
ない人が差別をしていたら注意をしたり、理
解してもらえるようにしていきたい。